



特集 その後どのように暮らしていますか？

DIYで暮らしを楽しく

特集 その後どのように暮らしていますか？

DIYで暮らしを楽しく

東京都東村山市
1 邸 (ご夫婦 + お子様2人)
木造ドミノ住宅



1

ストーリー

大きな窓からあたたかな太陽の光がさしこむ1階リビング。その陽だまりの中で楽しそうに遊ぶ子どもたち。ずっとここでくつろぎたくなるような、そんな居心地の良い空間。この家に住みはじめて4年ほど経つ、1様の暮らしをご紹介します。

以前は市内の社宅に住んでいたという1様。2人目のお子さんが生まれた時に「そろそろ引っ越そうかなあ」となんとなく考えていました。ある日、東村山市の産業祭に参加した帰りに、ふらっとむさしのi-タウンのモデルハウスに立ち寄ったのが、相羽建設との最初の出会いでした。「モデルハウスに行くこと自体初めてでした。ナチュラルな雰囲気の木の家をとっても気に入ったのを覚えています」と1様。そこから本格的に家づくりを考えはじめたといいます。

3

子どもの頃の思い出をもう一度

ご夫婦お二人とも実家が戸建てだったこともあり、子どもの頃の楽しかった記憶や経験から「わが子たちにも戸建ての空間の中でのびのびと過ごしてほしいと思っていました」と語るI様。しかし2年ほど土地探しをするも、お気に入りの土地はなかなか見つかりませんでした。利便性の良い駅近くのマンションを購入しようとしたこともありましたが、契約直前のタイミングで今の土地が見つかり、一目見て「ここに家を建てよう!」と決意したそう。

I様の家は、家族の成長に合わせて間取りを自由に変えられる『木造ドミノ住宅』。1階部分はまるごとワンルームになった広々とした空間です。キッチン、リビングで過ごす家族を眺めながらお料理ができる対面式に。「私が子どもの頃、母が料理をしている姿を反対側のソファに上ってよくのぞいていたんです。そんなやりとりを子ども達ともできたらなあって」。幼少期のI様の思い出がLDKに素敵に再現されていました。

2階は仲良い兄妹の子ども部屋。2人が成長し、ゆくゆくは壁で間仕切って個室にしようとも考えているようですが、今はまだこのままだ。取材中も、楽しそうに一緒に遊んでいるお兄ちゃんと妹ちゃん。同じ空間で毎日顔を合わせて過ごせることも、仲良しの秘訣なのかもしれません。



1…陽当たりの良いあつかりリビング
2…上部は茶色のガルバリウムの外観
3…ギターを披露してくださったご主人
4…2階の広い部屋で遊ぶ子どもたち

4

DIYで暮らしを楽しむ



▲ 楽しいキッチンライフ

1様ご家族の可愛らしいお住まい。実は家のいろいろなところがDIYされていました。奥様が対面キッチンのダイニング側の壁の、もともと貼ってあった土佐和紙部分を水色に塗装(なんと一晩で!)。また、シンク下には、ご主人が木でつくったキャスターつき収納がぴったりと収まっていた。さっとゴミ箱を引き出せてとっても便利。ひと手間加えることで、キッチンまわりがより素敵になっています。



暮らしを彩る ▼

以前は社宅ということもあり、何かつくったり家に手を加えることはほとんどなかったという1様。家を建てた後にDIYのことをブログで知り、「家でこんなことができるんだ!」と今ではいろいろつくって楽しんでいます。市販の棚に手作りした木の蛇口と台を組み合わせて、おままご用のキッチンにしたり、リビングの柱と柱の間の壁を利用した飾り棚もDIYされたもの。背景のレンガの壁紙もご自身で貼られたそう! ご家族で暮らしを楽しんでいる様子が伝わってきます。



取材後記

可愛い壁紙や壁の塗装……最初おうちにお伺いした時は、はじめからこの雰囲気だと思っていたばかりに、DIYをしたというお話を聞いて驚きました!家は建てて完成ではなく、住まい手さんによって様々に成長していくのだなぁと改めて感じました。1様のおうちも今後もまた素敵に変わっていくと思うととても楽しみです。(記:広報 吉川)



取材:伊藤・遠藤・吉川 取材後記はコチラ→ <http://ameblo.jp/ainohablog/>





特集 その後どのように過ごしていますか？

家族だんらんの「あったかい家」

特集 その後どのように過ごしていますか？
家族だんらの「あったかい家」

東京都小平市 | 木造一戸建て | 1邸(ご夫婦+お子様2人)



1
ストーリー

緩やかに続く大谷石のアプローチを抜けた先に、爽やかな青色の外観の住まいがありました。今回ご紹介するのはこちらに住みはじめてから2年半ほど経つ、4人家族の1様の暮らし。もともとはマンションにお住まいでしたが、相羽建設のモデルハウスを訪れたことが自然素材の家に住みたいと感じるキッカケになったのだそうです。「いろいろなイベントに参加しながら様々な土地を見に行きました。梅雨時や寒い時期に宿泊体験も何度かさせて頂いたりして。でもなかなか具体的にならなくて……そんなとき、この土地を紹介してもらったんです」。



2

家族が集まるだんらんスペース

土地が決まるとさっそくその場所にあったプランを考えます。ちょうど隣が緑いっぱいの敷地だったことから、1階はその景色を楽しめるように、雪見障子のある"堀座卓"のダイニングスペースが設けられていました。「いわゆる一般的なテーブルではない形がいいなあと思っていたんです。こうすれば足も入れられるし、畳スペースもあってゴロンと昼寝もできて、すごく気に入っています」と笑顔でお話し下さったご主人。今では家族が自然と集まる居心地の良い場所になっているようです。さらに座卓の下にはOMソーラーの吹き出し口もついているので、冬は太陽の熱で足元からじんわり暖まります。「冬はOMソーラーが本当にあったかくて、基本的にはずっと裸足で過ごしてます。家の中がまんべんなくあたたかいので、外が寒いことを忘れて上着を着ないで出かけそうになることもありました(笑)」。

家の中もあたたかく、家族だんらの様子に心もあたたまるような、そんな1様の暮らし。



▲ 手前に収納機能もついた堀座卓



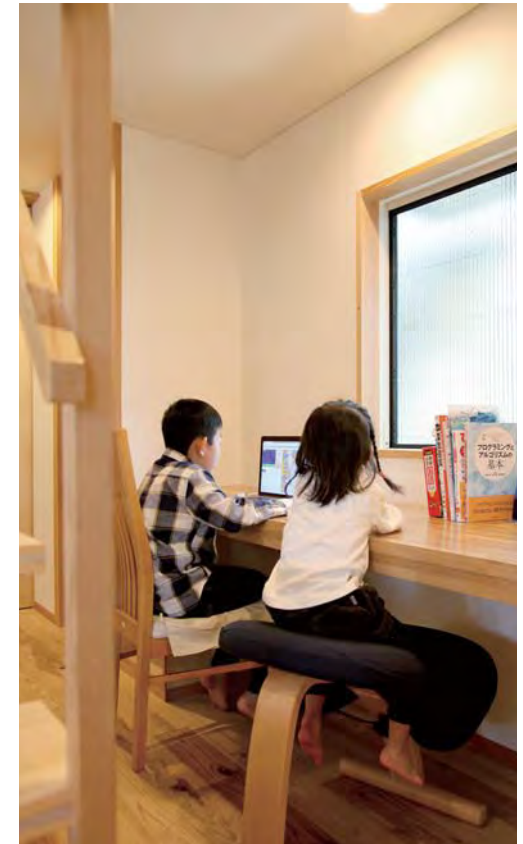


▼ ワクワクする場所

1様の住まいは階段を中心に回遊性のある間取になっています。階段横の通路にワークスペースをつくったり、長い廊下がウォークインクローゼットになっていたり、ワクワクするような工夫がたくさん!限られたスペースが最大限に楽しく活用されていました。

1,2,3…趣味のカメラ棚があるご主人の書斎スペース。4…2階子ども部屋。将来は間仕切りをして2部屋に。5…階段横は家族共有のワークスペース。

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 5 |
| | 3 | |
| 4 | | |



3 暮らしを楽しむ



◀ 家の中と外の薪棚をあわせて一年分ストックされた薪



▲ 炎のある暮らし

家を建てる前、薪ストーブイベントに参加したことをキッカケに炎のある暮らしに興味を持ったという1様。「冬になると、毎日朝と夜だけ火をつけています。余熱で一日あったかいですよ」とストーブライフを楽しまれていました。また、自宅の薪ストーブでつくる焼き芋やピザも格別の味です。

取材後記

とても朗らかなご家族で、楽しく貴重な時間を過ごさせてくださいました。そしてびっくりしたのが、1様がainohaのバックナンバーを全部とっておいて下さっていたということ!他にも「ナチュラルズム」というainohaができる前の会報誌も大事に保管されていて、家づくりの参考にさせて頂いていたそうです。そんな1様の丁寧さが住まいに反映されているのだなぁと感動した一日でした。(記:広報 吉川)



設計・施工:相羽建設

撮影取材:伊藤・吉川 ainohaバックナンバーはこちら→<http://aibaeco.co.jp/photo/ainoha/ainohabackno/>





特集 その後どのように暮らしていますか？

小さなお家と大きなお庭

1
家づくり
ストーリー

住みはじめて1年。家族4人で仲良く暮らすF様のお住まいを訪ねました。敷地いっぱいに広がるグリーンの芝生の庭では、子ども達の遊ぶ元気な笑い声。以前は借家の平屋に暮らしていたというF様。庭では子どもたちが裸足で駆けまわったり、家の中は壁を塗ったり棚をつくって自由にDIYできたりと、のびのびとした家だったそうです。事情により家を取り壊すことになり、次の家探しをするも「やはり以前住んでいた家と同じような環境がほしい。けれど、DIYや庭のある家を探したり実現させるのは賃貸では難しい……」そんな悩みをもっていた奥さまがある日ご主人から一言「それなら自分でつくってみたら?」。この言葉に背中を押され、DIYの家づくり集団「HandiHouse project」の加藤さんと出会い、家のスケルトンを相羽建設が施工、内装工事を加藤さんとF様ご家族が手がける、参加型の家づくりがはじまったのです。

特集 その後どのように暮らしていますか?

小さなお家と大きなお庭

武蔵村山市 | F邸(ご夫婦2人+子ども2人) | 木造ミノ住宅



みんなで一緒にDIY!



2
自分たちで
つくる家

「0から考えてください」。家づくりの際、最初に加藤さんから言われた言葉。HandiHouse projectの家づくりは、基本的な間取りや素材などはお施主さん自身に考えてもらうスタイル。選べる楽しさがある分、迷うこともたくさんあったという奥様。半年以上の設計期間をかけ、間取り

の位置を全部自分たちで考えたといいます。大工さんたちによる上棟後、内装工事はほぼF様と加藤さんで施工。F様は壁塗りメインでDIY。「天井を塗るのが一番大変でした。翌日腕が筋肉痛に(笑)でも自分たちでやった作業は全部楽しかったです!」とF様。家づくり中は職人さ

んたちの仕事を間近で見たり、上棟時のまだ屋根がついていない状態で2階で青空の下みんなで弁当を食べたり。そして家族みんなで作ったことは、子どもたちがずっと忘れられない貴重な体験となったそうです。「あの1年はずっと家のことばかり考えていました」と笑う奥様。



上棟後、約2ヶ月ほどかけて内装工事は無事に完了! 床の養生をみんなで剥がす瞬間は感動もの。

↓ F様の家づくりの様子は動画でも紹介されています
<https://youtu.be/vSqhSi65m54>

特集 「その後、どのように暮らしていますか？」

家族と一緒に成長する家





ずっと木の家に
住みたいと思っていました

特集 「その後、どのように暮らしていますか？」

家族と一緒に成長する家

東京都小金井市 | 1邸

木造ドミノ住宅 4人家族(ご夫婦+子ども2人)

Living Room



hello!

1 Story

家づくりのキッカケは？

以前は小金井市内のマンションで暮らしていたIさま。子どもたち2人も遊び盛りになってきたので、「家の中でものびのび過ごせるように」という想いから一戸建てへの引っ越しを考えはじめました。当初はなかなか良い土地が見つからなかったそうです。そんな時、たまたま近くの神社へ散歩に行くと、なんとすぐそばで土地販売が行われていました。「以前からお宮参りなどでとても親しみのある神社だったんですよ〜」と、にっこりIさま。家づくりや土地探しには、思わぬところに偶然の出会いがあるようです。



木の枝と毛糸を使った手作りモビール

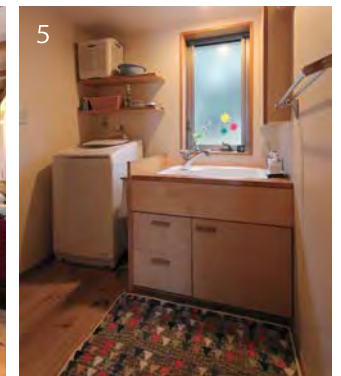
2 Lifestyle

可愛がり甲斐のあるおうち



ずっと木の家に住みたいと思っていたという奥さま。5年経ったパインの床はほんのり飴色になってしっとりとした艶がありました。Iさまは家族で毎年1回かさらず床や浴室を丁寧に塗装しているそうです。ダイニングテーブルの塗装も無垢の自然な風合いを生かすソープ仕上げ。メンテナンスはソープ液を泡立ててやさしく拭き取り

ます。「お手入れをすると家がこたえてくれて、可愛がり甲斐のあるおうちです♪」とにっこり奥さま。気持ちを込めて住まうと家も美しく育っていくのですね。リビングでは、子ども達が遊んだりお勉強をしたり。「この家に住み替えてからみんながのびのびできるようになって、気持ちがゆったりしました」と笑顔でお話されていました。



1~3.窓の外が眺められるカウンターキッチン。奥さまよりフレンチプレスコーヒーをいただきました。4.経年変化できれいな飴色になった無垢のパインの床。ダイニングには北の住まい設計社のメープル素材のテーブル。5.服などちょっとした洗い物もできる少し大きめの洗面ボウル。台の下の引き出しはもともと何もなかったところを大工さんがびったり合わせてつくってくれたもの。

3

Partition

子どもの成長にあわせて 部屋を間仕切り

2階の子ども部屋。最初はワンルームでしたが、子どもたちも成長してきたので現在は壁で仕切って2部屋になっています。本が大好きで「ベッドに寝ながら本を読みたい!」という子どもたちの希望で、壁に本棚も取り付けられています。壁の奥に引き戸がついているのは、1つのエアコンの風を両方の部屋で共有できるようにするためのエコな工夫です。



before



間仕切り前…部屋の中心に壁を設置します。



工事…ましろ内装/益子さん&電気/野田さん

----- 間仕切り壁位置



Children's room

間仕切り完了…壁の取り付け工期は約3日ほど。間仕切り壁の取り付け・取り外しが簡単に行えるのは木造ドミノ住宅ならではの。



アプローチの植栽は、Iさまのご近所のお花屋さんによるもの。デッキの前にはちいさな畑があり、夏は家庭菜園になります。

4

Planting

一緒に育つ記念樹



玄関先に植えられているギンバイカは、「祝いの木」としてお子さまの小学校入学時に記念樹として配られたもの。初夏に白い花が咲き、冬にかけて青い実がなります。奥さまは「鳥が遊びに来る家が憧れ」とのことで、他にも鳥が食べに来られるようにジューンベリーなどの実のなる木も植えられました。植物たちも家族と一緒にすくすく育ちます。



「楽しい貴重なお時間をありがとうございました!」

取材:伊藤/吉川 取材後記はコチラ→ <http://ameblo.jp/ainohablog/>

ainoha 2015*february-07



4
家族の顔が
見えるキッチン

「以前の家はキッチンが狭く孤立していたので、キッチンにはこだわりがあったんです」と奥様。できるだけ家族の顔が見えるように流し台をリビング向きに設置しました。キッチンは流し台のシンクを特注し、それにぴったり合わせた加藤さんの造作によるもの。DIYで塗装したキッチンの紺色の壁も家の中の素敵なワンポイントになっています。新たなキッチンでぐっと近くなった家族の距離。奥様がお料理している時も家族みんなの楽しい会話が聞こえてきます。



3
2階は遊び
スペース



「壁面本棚をつくりたい!」という希望からアイデアがふくらんだ2階。ボルダリングやハンモック、登れる収納棚や座れる本棚など「子どもの頃に憧れていたものをつけよう」と遊び心いっぱいのスペースに。夜はみんなで仲良く川の字で寝ます。目の前は川、隣は森。夏でも窓を開けていれば涼しい風が入ってくるおかげエアコンいらずで過ごせるそうです!



庭にはハンモックや緑のカーテンをつけたり、使い方自由のビッグフレームが設置されています。



取材後記

取材の中で「新築したはずなのに、住みはじめた時からなんだかずっとこの家に住んでいたような感覚がありました」と話されていたF様。家は変わっても、家族の過ごし方や距離感は変わらず仲良し。そんなF様のライフスタイルがとても素敵だなあと感じたひと時でした。(記:広報 吉川)



HandiHouse project → <http://handihouse-project.jp/>
取材:伊藤・吉川…取材後記はコチラ → <http://ameblo.jp/ainohablog/>

